

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>

ピックアップ

一般



わが殿 上、下
 島中恵／著
 文藝春秋

「殿、また借金をしたのですか!？」幕末、財政難に喘ぐ大野藩。才気を放つ藩主・利忠に惚れ込んだ執行役・内山七郎右衛門は、藩政改革の無理難題を一手に引き受ける。

【中央・葦山】

一般



桃源
 黒川博行／著
 集英社

600万円持ち逃げ事件を追う大阪府警の刑事・新垣と上坂。沖縄でたどり着いたのは、中国船から美術品を引き上げるという出資詐欺だった。著者久々の正統派警察捜査小説。

【中央】

2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	⑧
9	⑩	⑪	⑫	⑬	14	15
16	⑰	18	⑱	20	21	⑳
23	㉒	25	㉓	27	㉔	29

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

2月のおはなし会

中央図書館 8日(土) 11：00～
 葦山図書館 8日(土) 14：00～
 22日(土) 14：00～
 くぬぎ会館こども広場
 13日(木) 11：00～

新着本コーナーから

- 一般 暗躍領域(新宿鮫 11) 大沢在昌／著【中央・葦山】
- 一般 別れの季節(お鳥見女房 8) 諸田玲子／著【中央・葦山】
- 一般 勿忘草の咲く町で 一安曇野診療記— 夏川草介／著【中央】
- 一般 魔法使いと最後の事件 東川篤哉／著【葦山】
- 一般 8050 問題 —中高音ひきこもり、7つの家族の再生物語— 黒川祥子／著【葦山】

お知らせ

大きな活字の本、あります

「本は好きだけど、目が疲れるので読書が億劫になった」という人に耳寄りなお知らせです。
 低視力者や高齢者にも読みやすいよう、文字の大きさや行間等を調整した“大活字本”を知っていますか？各館にコーナーを設けてありますので、試しに読んでみませんか？

令和元年度 生涯学習きっかけジュニアフェスティバル

～ママと一緒にがんばった1年間の成果を発表します！～

とき／3月19日(木) 10：00～12：00
 ところ／あやめ会館3階 多目的ホール
 内容／親子体操、親子で楽しくリトミック、親子で楽しむ Enjoy English、体験・相談ブースほか
 対象／どなたでも(定員180人)
 料金／無料
 その他／託児付き(要予約)
 生涯学習課 ☎ 055-948-1461



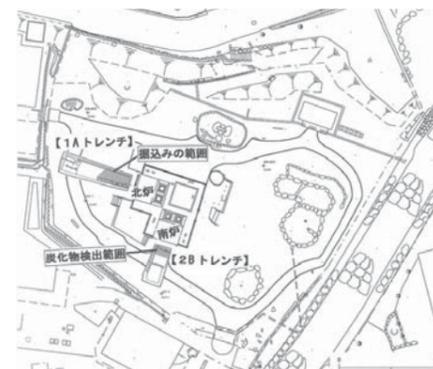
昨年の様子

文化財通信

その176

令和元年度 葦山反射炉発掘調査報告

文化財課 ☎ 055-948-1428



令和元年度の発掘調査箇所

葦山反射炉の発掘調査を、令和元年9月から10月にかけて実施しました。この調査は、『葦山反射炉の保存・整備・活用に関する計画』に基づき実施するもので、5カ年計画の初年度にあたりです。
 調査は、葦山反射炉で行われた大砲製造に関わる産業システムの解明と地下の遺構・遺物の情報収集を目的に、北炉西側【1A】と南炉南側【2B】にトレンチ(溝状の調査区)を設定し、実施しました。
 調査箇所は、反射炉で使用した燃料の灰や炭などをためる「灰穴」と

いう施設の位置にあたります。しかし、操業当時の絵図に描かれておらず、穴の有無や構造はわかっていませんでした。調査の結果、北炉の西側では長さ5.7m、深さ1.3mの灰穴と連続する掘込みを確認し、南炉では掘込みがないことがわかりました。北炉で見つかった掘込みの中に灰や灰などとともに大量のレンガ片や鋳型が廃棄されていることがわかりました。
 また、この掘込みの中に、漆喰片が層をなして大量に出土しました。
 漆喰片は厚さ1～2cm、大きさは10cm方の板状のもので、レンガの目地のような跡があることから、反射炉に塗られていた漆喰であると推定されます。漆喰片の出土状況から反射炉操業中に漆喰の塗り替えが行われ、補修が行われていることがわかる資料となりました。
 そのほかの遺物は、鉄滓・銅滓な



層状に出土した漆喰片

ど操業を物語る資料が出土しました。中でも、内径4.5cm程度の「散弾」の鋳型が完全な形で出土しました。近年の葦山反射炉の文献調査の結果によると、文久3年(1863)7月、幕府から葦山反射炉に対して、「実弾」7,180発、「散弾」46,600粒の製造が命じられたこと、翌年の元治元年(1864)5月までに「実弾」2,887発、「散弾」22,595粒が完成したことがわかっており、これを裏付ける成果となりました。
 葦山反射炉の発掘調査は、反射炉周囲の施設の確認や公益財団法人江川文庫所蔵の反射炉に関する古文書調査の成果などの検証を目的に令和5年度まで実施する計画です。今回の成果を含め結果の検証を進め、葦山反射炉の操業の実態に迫ります。



「散弾」の鋳型